



# 検査ニュース

No.175

ご挨拶

平素より佐賀県医師会成人病予防センター業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
今回は、「蛋白分画 検査内容変更」について、ご案内します。

佐賀県医師会成人病予防センター  
担当理事 志田 正典

## ●蛋白分画 検査内容変更（平成 29 年 4 月 1 日ご依頼分より）

蛋白分画検査の外部委託に伴い、検査方法は分離能、感度の高い、キャピラリー電気泳動法に変更となります。

キャピラリー電気泳動法は、分離能が高く、β分画がβ1とβ2に分離されます。β位のモノクローナルプロテイン（M蛋白）はβ2-グロブリン領域にピークの出現が多く、2つに分離できることによりM蛋白血症（多発性骨髄腫等）の早期発見の診断性が高まります。

また、β位以外のゾーン（α2あるいはγ位）に存在する微小なM蛋白も検出可能となります。

案内書掲載頁	検査項目	変更内容	現	新		
40	蛋白分画	項目コード	47	3901		
		検査方法	セルロースアセテート膜電気泳動法	キャピラリー電気泳動法		
		基準値 (単位: %)	① Alb	58.9~70.2	① Alb	55.8~66.1
			② α 1	2.1~3.2	② α 1	2.9~4.9
			③ α 2	5.9~10.0	③ α 2	7.1~11.8
			④ β	7.1~11.4	④ β 1	4.7~7.2
			⑤ γ	11.5~20.1	⑤ β 2	3.2~6.5
A/G	1.43~2.33	⑥ γ	11.1~18.8			
所要日数		1~2	A/G	1.3~1.9		
報告書		1~2	報告書内波形印字	2~4		
				専用報告書		

## ◆蛋白分画パターン

【現】 5分画（セルロースアセテート膜電気泳動法）

【新】 6分画（キャピラリー電気泳動法）

